

令和4年度第3回学校関係者評価委員会

1 日時 令和5年2月9日(木)13:30~委員会, 15:00~授業見学

2 出席者

(1) 学校関係者評価委員

大口高等学校同窓会長	出木場 洋
大口中央中学校長	東 正 昭
大口高等学校PTA会長	前 畑 竜 郎
大口高等学校PTA副会長	緒 方 い ず み
地域住民代表	前 畑 政 博

(2) 学校職員

校長, 教頭, 事務長, 教務主任, 生徒指導主任, 進路指導主任, 保健主任

3 内容

(1) 開会の挨拶(教頭)

(2) 校長挨拶

(3) 最終報告

各部・各学年の取組, 年間反省と課題等の報告(各主任)

学校評価アンケート結果について(教頭)

(4) 質疑応答, 意見交換, 大口高校への提言等

(5) 閉会の挨拶(教頭)

(6) 授業見学(総合的な探究の時間)

4 主な質疑応答, 学校への提言等

- ・ 1学期末に実施した体験入学が非常に好評だった。他の高校への進学を考えている生徒にとっても、「高校ではこんな授業をするんだ。」ということがよく分かり、参考になったという感想が多かった。次年度は、年度初めから学校行事の中に位置付けて進めたい。
- ・ 今年は例年になく大口高校への進学希望者が多い。学校の取組や高校生の頑張りが、新聞や毎月配付される学校だより「茜雲」で中学生とその保護者に伝わったことが大きい。
- ・ 大口中央中学校は、昨年初めて「鹿児島学習定着度調査」で県平均点を上回った。伊佐の子どもたちの学力と進路実現を保障するのは我々の務め。大口高校でさらに伸ばして欲しい。
- ・ 生徒や職員数が減少して部活動の在り方も考えないといけないが、大口高校に進学して野球等の部活を頑張りたいと希望している生徒もいる。そうした生徒の希望を叶えてあげて欲しい。
団体競技の場合、たとえ部員数が少なくても他の高校と合同チームを結成して大会に出場することは可能。一生懸命練習したのに部員が足りずに試合に出られないということはない。
- ・ 生徒数の減少に伴いPTAの予算も少なくなったため、進路指導補助員の勤務日数を減少としたとの報告があったが、生徒や職員に支障はないか心配。
勤務日を調整するなど、工夫しながら支障が出ないように努めている。
- ・ 今年度から朝課外廃止したが、その影響はどうか。
その分授業に集中するようになり、教員も個に応じたきめ細かい指導を行っている。模試でも昨年と比べ成績が落ちているということはない。大学入試でもしっかり結果を出したい。
- ・ 今年度は学校が特に広報に力を入れてくださり、感謝したい。最近ではポスターもよく見かける。先日は湧水町で大口高校のポスターが貼ってあるのを見て嬉しかった。
- ・ 何としても1学年2クラスを復活させて欲しい。同窓会としても全力でサポートしたい。

